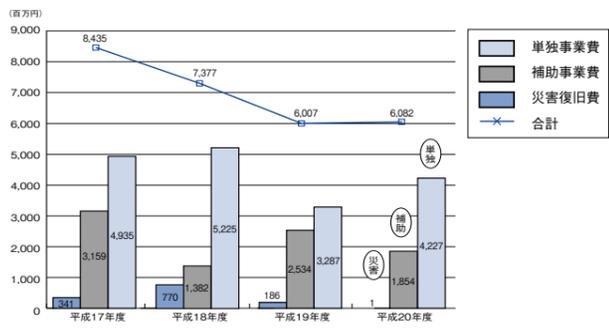




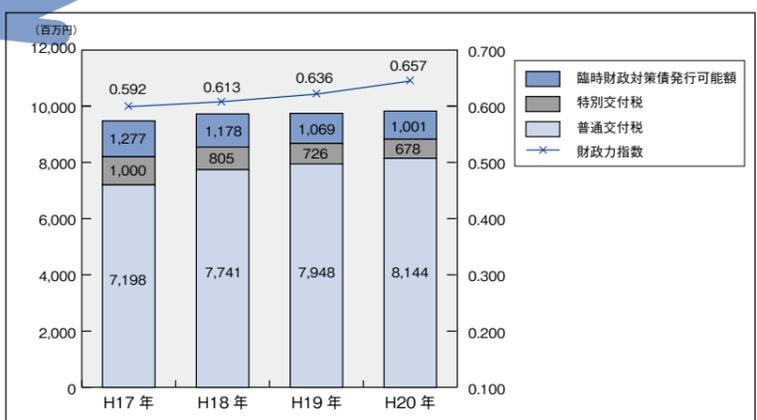
# 合併から4年、財政はどう変化した?

投資的経費の推移 (表6)



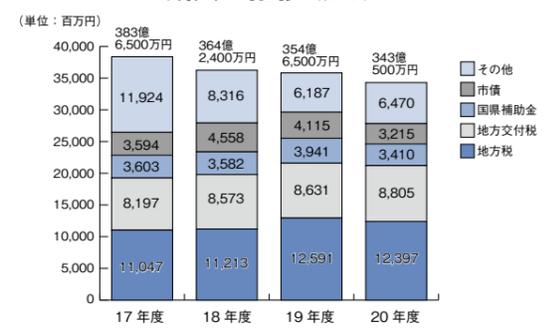
●投資的経費の状況  
 投資的経費の年度別の推移です(表6)。新市建設計画に基づき計画的に行っています。  
 全体の歳出額は減少傾向ですが、ライフライン(道路関係経費等)に関する経費は、毎年度一定額が確保されています。  
 災害に関する経費は災害の減少により減額となっています。

地方交付税と財政力指数の推移 (表7)



●地方交付税と財政力指数の状況  
 交付税は国の三位一体改革や基本方針2006・2007などによって、見直しが進んでいます。国の経済対策により増額となっています。  
 財政力指数は増加傾向にあります(表7)。

歳入の推移 (表1)



●歳入の状況  
 合併直後の平成17年度は旧5町村の予算の合計のため予算額が大きくなっていますが、徐々に総額は減額してきます(表1)。将来を見越し必要最小限の予算規模にしていきます。

●も  
 うすぐ市が誕生して4年となります。市誕生時と比べ、財政はどのように変化したのでしょうか。合併による効率化は現れてきているのでしょうか。決算額などの推移をまとめました。

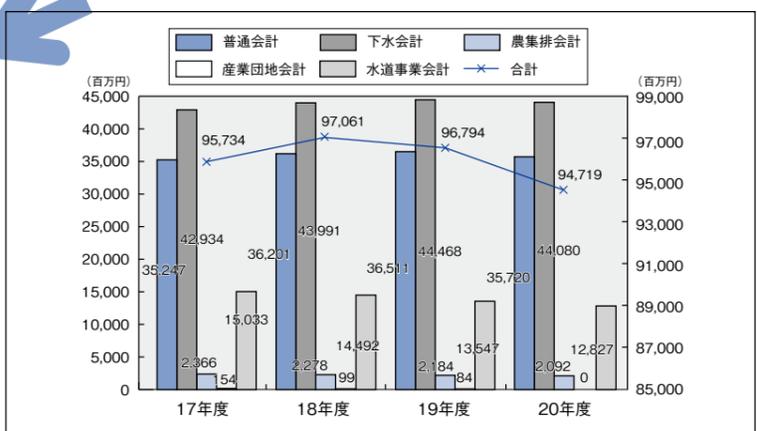
合併特例債の主な活用状況 (表2)

平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
中部・南部給食センター 4.4	中部・南部給食センター 376.1	中部・南部給食センター 964.3	穂高交流学習センター 348.2
	豊岳荘建設補助 171	穂高交流学習センター 463.8	有明保育園 576.4
		三郷児童館 202.5	安曇野赤十字建設補助 459.5
		豊岳荘建設補助 171	堀金保育園 301.7
		有明保育園 149.9	

●合併特例債の活用状況

別表に合併特例債の主な活用状況を記載します(表2)。合併後、給食センターや保育園・児童館、交流学習センターの建設、安曇野赤十字病院建設補助金等のための借入を行っています。

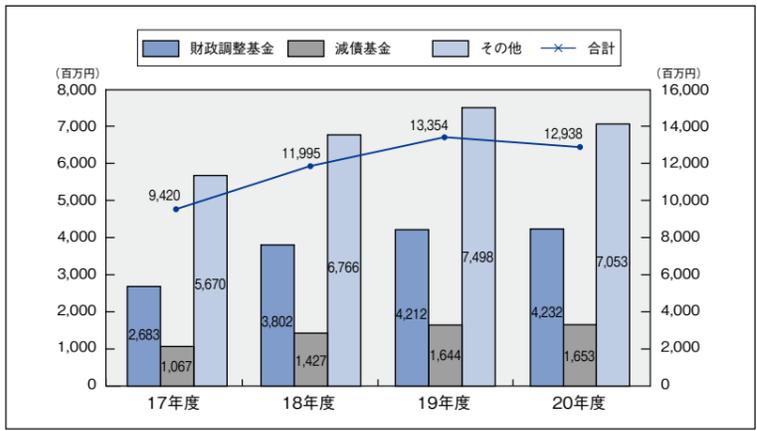
起債残高の推移 (表8)



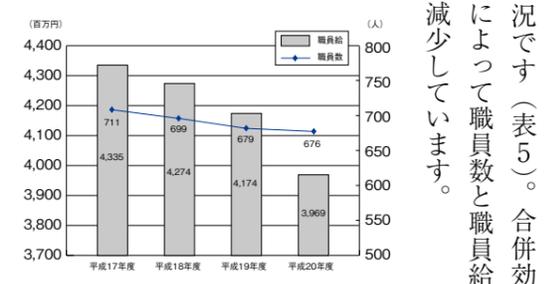
●起債・基金残高の状況

●起債・基金残高の状況  
 年度別残高の推移(表8、9)です。起債は下水道事業の減少に伴い、全体的には減少傾向にあります。基金は合併後計画的に積立を行い、増加傾向です。目的のある基金は計画に沿って取り崩し、事業を推進します。

基金残高の推移 (表9)



職員給の推移 (表5)

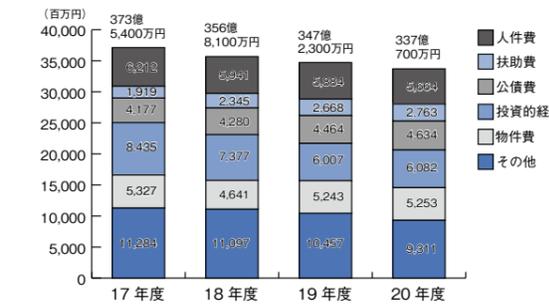


●職員給の状況

●職員給の状況  
 普通会計に属する職員の状態です(表5)。合併効果によって職員数と職員給は減少しています。

●歳出の状況  
 目的別(表3)と性質別の歳出(表4)です。目的別では社会保障費の増で民生費が、旧町村の公債費の本格償還で公債費が伸びています。また人件費の減少で総務費が、事業量の減で農林水産費が減少しています。性質別では扶助費・公債費が伸びていますが、人件費・投資的経費が減少しています。

歳出(性質別)の推移(表4)



歳出(目的別)の推移(表3)

